

機械システム工学科

助教 畠山 友行

平成15年 東京工業大学工学部機械科学科卒業
平成17年 東京工業大学大学院理工学研究科機械制御システム専攻 博士前期課程修了
平成20年 同 博士後期課程修了 同 研究員
平成21年 富山県立大学工学部機械システム工学科助教



～研究分野について～

マイクロスケールやナノスケールにおける熱流体の研究を行っています。電子機器の冷却や、バイオテクノロジーのための熱流体を中心としています。

～研究テーマの活躍のフィールド～

熱流体は多岐に渡る分野で重要です。マイクロ・ナノスケールの熱流体をキーワードに、半導体デバイス内部の発熱や熱輸送の解明、バイオテクノロジーのための小規模かつ高機能な装置の開発への応用を目指しています。

Message

マイクロスケールやナノスケールにおける現象は、まだまだ不明な点が多く存在すると考えております。マイクロメートル以下の現象は、実験的に観察することが困難なことから、専ら数値計算によりその現象を予測することになります。しかし、実験による観察がなされていないため、計算の妥当性の検証は十分に行われておりません。マイクロ・ナノスケールにおける熱流体の現象に、数値計算と実験の双方からのアプローチを試みます。

知能デザイン工学科

講師 松本 公久

平成13年 甲南大学理学部物理学科卒業
平成19年 神戸大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了
平成19年 神戸大学連携創造本部先端研究推進部門講師(研究機関研究員)
平成21年 富山県立大学工学部知能デザイン工学科講師



～研究分野について～

半導体ナノマテリアルの作製と物性評価、またそれらを使った新規ナノバイオ計測法の開発及び医療応用。

～研究テーマの活躍のフィールド～

- 人体に無毒かつ環境に優しい、新規ナノバイオマテリアルの作製
- 微粒子の発光特性と光学的計測法を組み合わせたバイオ計測

Message

医療の分野では、医学だけでなくバイオテクノロジーや物理学をベースとした固体物性、光計測技術が多く利用されています。半導体ナノマテリアルをバイオマテリアルとして利用することや、光計測と組み合わせた新たなバイオ計測法を開発し、医療応用を視野に入れた研究を目指しています。ご興味のある方は気軽にご相談ください。

環境工学科

教授 九里 徳泰

平成元年 中央大学商学部経営学専攻ジャーナリストとして10年間世界80カ国取材
平成11年 中央大学大学院総合政策研究科修了
平成13年 中央大学研究開発機構助教授
国立豊橋技術科学大学工学部エコロジー工学系教員
平成21年 富山県立大学工学部環境工学科教授



～研究分野について～

持続可能な社会を達成するための企業、非営利組織と環境、社会の持続可能性マネジメントとそのための教育研究が中心です。

～研究テーマの活躍のフィールド～

企業・組織の環境経営、CSRマネジメント、環境・持続可能性教育、エコツーリズムでの地域活性化、農商工連携、LOHAS (Life styles of health and sustainability)、自転車利用促進など具体的な環境政策、企業における物質循環分析 (MFA) ・管理など。

Message

これまで経営学、人類学、環境科学、政策科学、観光学と分野横断で研究をしてきました。私の研究の中心は「環境経営学」、企業活動とより良い環境を両立させることです。これからの時代「環境経営」は必須だと思います。また、企業等の方々には企業の環境配慮活動、企業の社会的責任 (CSR) のアクションプランを具体的にお手伝い出来ます。(世界80カ国の旅の話も同時にしても構いません)。お気軽にご相談ください。

准教授 伊藤 始

平成 9年 名古屋大学大学院工学研究科修了
平成 9年 前田建設工業株式会社 技術研究所
平成14年 港湾空港技術研究所構造強度研究室(出向)
平成17年 前田建設工業株式会社 技術研究所
平成21年 富山県立大学工学部環境工学科准教授



～研究分野について～

主要な建設材料であるコンクリートについて、施工時に生じるひび割れの抑制技術や経年的劣化に対する診断技術を実験と解析から研究しています。

～研究テーマの活躍のフィールド～

橋梁やトンネルなどのコンクリート構造物に生じるひび割れなどの初期欠陥を防止することや構造物の維持管理を適切に行うことにつながり、構造物を長期間にわたり安全かつ快適に利用することに寄与します。

Message

コンクリートは、20年ほど前までメンテナンスフリーの建設材料とされてきました。しかし、近年、塩害やアルカリ骨材反応などの経年的な劣化が顕在化しています。富山県は、都市機能が臨海部に集中していることや寒暖の差が大きいことなど、コンクリート構造物には厳しい環境にあります。そのため、この地域において、構造物を安全に利用し続けるためには、適切な維持管理や予防保全への取り組みが重要と考えています。

情報システム工学科

准教授 唐山 英明

平成11年 大阪大学大学院理学研究科博士課程修了
平成13年 岡山市情報政策部
平成15年 大阪大学産業科学研究所研究員
平成17年 東京大学インテリジェントモデリングラボラトリー研究員
平成20年 東京大学IRT研究機構特任助教
平成21年 富山県立大学工学部情報システム工学科准教授



～研究分野について～

考えるだけで機械を操作するブレインコンピュータインタフェース等、人間と機械の接点であるヒューマンインタフェースを中心に研究を行っています。

～研究テーマの活躍のフィールド～

ゲームなどの娯楽・アミューズメント分野をはじめ、車椅子などの操作に代表される医療・介護分野、さらには個人認証などの社会基盤への応用など、広範囲にわたる貢献を目指しています。

Message

ブレインコンピュータインタフェースは、技術的に可能であるということが広く知られるようになってきました。既に、この技術を利用したキラークアプリケーションの創出が強く求められる段階に入ったと言えます。私共の研究室ではそのような応用指向研究を行う一方で、基礎研究の重要性を認識しつつ、新しい生体反応の発見も目指していきます。研究に興味のある方はご連絡を頂きますようお願いいたします。

講師 岩本 健嗣

平成10年 慶應義塾大学環境情報学部卒業
平成12年 慶應義塾大学政策・メディア研究科修士課程修了
平成17年 博士(政策・メディア)慶應義塾 取得
平成18年 (株)KDDI研究所
平成21年 富山県立大学工学部情報システム工学科講師



～研究分野について～

携帯電話や、センサを使った、人の位置や状況に応じたアプリケーション開発や、微気象データの収集、解析など

～研究テーマの活躍のフィールド～

- 位置情報やセンサ情報を使った人の状況を把握するサービス
- 建物内での位置情報を使ったサービス
- 都市部の微気象データを利用した、まちの安心安全

Message

ユビキタスコンピューティングの分野で、実際に人々の役に立つ技術の開発を目指して、研究を行っています。人の状況認識や位置情報の取得、都市の環境情報センシング、ならびにこれらの応用技術の開発を通じて、地域や社会の役に立つアプリケーションを提案します。様々な分野の方々と協力してユビキタスコンピューティングの実現を目指しますので、どのようなことでもご相談ください。

講師 佐伯 孝

平成17年 豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程環境・生命工学専攻修了
平成17年 独立行政法人国立環境研究所循環型社会・廃棄物研究センターポスドクフェロー
平成18年 富山県環境科学センター任期付研究員
平成21年 富山県立大学工学部環境工学科講師



～研究分野について～

循環資源の実態把握やリサイクル技術などの環境負荷評価を行い、持続可能な循環型社会構築に向けた研究をしています。

～研究テーマの活躍のフィールド～

- 実態把握：循環資源の流れや処理の実態を把握することによって、問題点や必要な技術を把握します。
- 環境負荷評価：高価な評価ソフトを必要とせず、簡単に環境負荷を把握可能な評価ツールの開発を行います。

Message

実態調査やリサイクル製品や技術の環境負荷の評価を行っています。以前は、高温高圧水を用いたプラスチックのモノマー化や炭素繊維強化樹脂から炭素繊維の回収、超臨界二酸化炭素を用いた食品廃棄物からの生理活性物質の選択的抽出などの廃棄物の再資源化技術の開発も行っておりました。興味がある方は、お気軽にご相談ください。

講師 手計 太一

平成14年 独立行政法人土木研究所水工研究グループ
平成17年 独立行政法人土木研究所ユネスコセンター設立推進本部
平成18年 博士(工学)(中央大学)
平成18年 福岡大学工学部社会デザイン工学科
平成21年 富山県立大学工学部環境工学科講師



～研究分野について～

専門分野は水文学や水資源学です。流域規模の社会・経済変化と水循環変動との相互作用評価を数値シミュレーションやデータ解析を基に研究しています。

～研究テーマの活躍のフィールド～

私の研究分野は河道計画や流域マネジメント、また水災害予測や水災害緩和のための方法論など多岐にわたります。私達が安全に生活出来る基盤づくりに貢献しています。

Message

水文学や水資源学は様々な技術や研究分野を横断的に必要としています。観測機材・センサーなどの共同研究や開発のご協力が出来れば幸いです。また、気候変動に伴い、水災害は増加する傾向にあります。このような自然災害から県民を守るための政策提言にも積極的に貢献していきます。